

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスPEACE		
○保護者評価実施期間	令和7年 12 月 1 日		令和7年 12 月 26 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和8年 1 月 5 日		令和8年 1 月 30 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 12 月 1 日		令和7年 12 月 19 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	4名	(回答数) 2施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2 月 10 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービスを利用している子ども達の利用が多い為、特性を理解した上で支援に携わる事が出来る。	特性を強みとして考え、苦手意識を緩和し、出来たに繋がる支援を心掛けています。	支援の中で子ども達の特性をより一層理解を深め、出来る事の幅を広げ、挑戦出来るように支援して参ります。
2	直接支援を行い、具体的な支援方法を提示出来る。	間接的な支援ではなく、直接支援する事で具体的な支援方法を伝える事が出来ると思っております。個別対応が出来る強みとして、本来の力を発揮出来るまたは取り組む姿勢の変化を感じられるのではないかと思います。	フィードバックを大切にし、子ども達の成長、取り組む姿を共有し、具体的に分かりやすい支援や理論を正確にお伝え出来るように取り組みます。
3	迅速な対応を心掛けている。	ご相談を受けた際は迅速に対応し、連携を図っています。	今後も関係性を構築し、信頼度を向上し、連携が図れるように心掛けます。 また、気軽にご相談できる体制を整えます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員に限られている為、利用調整が必要である。	訪問支援員が少なく、ご利用できる日にちが限られており、場合によっては利用の調整が必要な状態です。	訪問支援員を増やし、柔軟に対応出来るように体制を見直します。
2	訪問支援員に限られている為、職員の負担を軽減する必要がある。	担当の児童が増加傾向です。柔軟な対応や支援の質を落とさない為にも増員する必要があると思えます。	子ども達の支援に万全な状態で入れるように職員の負担を軽減し、担当、役割を分担できる体制を整えます。
3	時期によっては会議を設定する事が困難である。	新学期、行事の兼ね合いもあり、関係機関が集まり、会議を開催する事が困難な場合があります。	定期的な話し合える場を設ける事は大切であり、方向性、課題の見直し、意向の相違等、確認事項は重要だと考えます。全体で協議が困難な場合でも開催時期の見直しを図り、可能な限りで様々な手段を考え、共通理解のもと支援が出来るように働きかけます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス PEACE

公表日 2026年 2月 18日

利用児童数 4名

回収数 4名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2	1		1		基本は訪問先施設の教具教材を活用する形で取り組んでいます。特性に応じて、必要な際は使用を検討します。
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4					面談室を設けており、プライバシーを保護し、面談を実施しています。
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	4					事業の目的、支援等は丁寧に説明する事を心掛けています。より分かりやすく説明が出来るように取り組みます。
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	4				・訪問支援の頻度の希望を聞いてもらい、学校とも相談して頂いています。	ご相談に応じて迅速に対応を行います。
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	4					今後も特性に応じて、必要人数を配置出来る体制を整えます。
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				・学校での様子を見て、必要な声かけや対応を考えて下さっています。	今後も専門性の高い支援が出来るように取り組みます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4				・計画を作成する際に子どもと親の意向を聞いてもらいました。	定期的に関き取りを行い、必要に応じて計画内容を変更など課題や意向を分析し、適切な計画を作成するよう取り組みます。
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4					今後も学校様の意向を取り入れながらより良い支援が提供出来るように働きかけます。
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3			1		適時、保育所等訪問支援ガイドラインを確認し、新たな情報の下で具体的な支援内容を設定出来るように努めます。
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					どの職員が支援に携わっていたとしても計画に沿った共通の支援が出来るようにPDCAサイクルを用いて、全体で支援を強化します。
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4					訪問先施設での方針等を尊重し、寄り添いながら支援出来る体制を整えます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4					より分かりやすく説明が出来るように工夫する。
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4					今後も内容をより分かりやすくご説明出来るように工夫します。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2	1		1		定期的に交流する機会を設け、参加は自由で気軽に話が出来るように検討しています。
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	4				・子どもの学校や家での普段の様子や、変化があった時はお伝えし、PEACEからも教えて頂いています。	今後も取り組みが維持出来るように情報共有出来るように話し合える関係を構築します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				・面談で話を聞いて頂き、アドバイスを頂いています。	話やすい関係を構築できるように取り組みます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				・悩みをゆっくり聞いて下さり、どんな対応をしたら良い方向に向かうのかを、一緒に考えて下さっています。	親身に寄り添い、「話して良かった。」と思って頂けるように真心想って対応を心掛けます。
18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					相談・苦情等、迅速に対応し、安心して頂けるように努めます。	

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				状況に応じて様々な方法で伝達出来るように検討します。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4				学校様の考え等にも寄り添い、「繋ぐ」を大切に配慮が出来るように取り組みます。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3		1		ご都合に合わせて、定期的にモニタリング等の会議を実施することや日々の振り返りを大切に働きかけます。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	4				定期的カンファレンスの機会を設け、現状の把握、支援内容等、話し合えるように働きかけます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4				定期的に更新し、活動内容やお子様のご様子を分かりやすく発信出来るように工夫します。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				個人情報関係の取り扱いの際は厳重に注意し、漏洩防止を徹底致します。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3	1			訪問先施設での緊急時は訪問先の手順に沿って対応致します。また、様々な想定を考慮しながら、対応出来るように取り組みます。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4				具体的な事例に基づき、想定しながら支援が出来る体制を構築します。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4				・適度な緊張感が持っており、意欲が出ていると言っている。 ・「今日〇〇先生来たよ」と笑顔で話しています。
	28	事業所の支援に満足していますか。	4				・学校での様子を参観日以外に見ることが出来ないで、知ることができ、落ち着いて過ごせるように対応を考え、共有して下さっているの、安心していきます。いつもありがとうございます。

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 令和 8 年 2 月 18 日

放課後等デイサービスPEACE

利用児童数 4名 回収数 2施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			児童の様子を的確に見取り、対象の児童やその場に合った助言を分かりやすく適切に下さっている。	嬉しいお言葉有難うございます。今後も具体的に分かりやすく説明が出来るように心掛けます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1	1		専門性に長けておられ、適切な支援やアドバイスをして頂いている。	専門的な部分に関しては経験値があり、専門知識が豊富な外部講師がいらっしゃいます。今後も研修等に参加し、専門性の知識を高め、満足して頂けるように取り組みます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	1	1		・アドバイスを頂いた事を取り入れ、課題や困り事に対処する事が出来ている。 ・保護者に学校での支援の様子を伝えて下さっている。	適時、正確、明確な回答が出来るように知識・支援方法について、学び、共有出来るように取り組みます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2				子ども達が安心出来る場として、少しでも不安や困り事が軽減できるように迅速な対応を心掛けます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	1	1		保護者と学校を繋いで下さって、とても有難い。	「繋ぐ」を大切に今後も満足して頂けるように支援して参ります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
これから子ども達のより良い成長の為、子ども、保護者、学校の架け橋としてご対応頂きますよう、宜しくお願い致します。					お忙しい中、温かい、力となるお言葉を頂き、有難うございます。支援の質の向上を図り、皆様の想いを「繋ぐ」支援が出来るように一層力を入れて取り組んで参ります。いつも、子ども達のサポートを有難うございます。	

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスPEACE		公表日		令和 8 年 2 月 18 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		学校で使用している物を活用している。	今後、学校にある物以外で特性に応じて必要であれば使用を検討します。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		適切な職員配置で支援を実施している。 (1人対して1名～2名。)	適切な職員人数で支援が出来るようにご要望に応じて配置します。	
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		支援前後に振り返りをその都度、行っている。	現在、放課後等デイサービスを利用している児童が保育所等訪問支援を利用して頂いています。保育所等訪問支援での様子も放課後等デイサービスの支援に反映出来るように取り組んでいます。今後も継続して、反映出来る	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		報告書をもとに保護者様には現状をお伝えし、意向の聞き取りを実施している。	ご本人、保護者様の意向をその都度、聞き取り、把握し、より良い支援が提供出来るように努めます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		随時、伝達し、意見を反映しながら支援を実施している。	聞き取りした情報等は全職員に伝達し、様々な場面で改善出来るように努めます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2		専門家に評価、状況等を説明し、助言を頂いている。	今後も適時、専門家からのアドバイスを取り入れ、開かれた支援を実施出来るように努めます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		法人内や外部研修等に参加している。	様々な専門的な知識が必要な為、継続して意欲的に研修に参加し、支援に活かして行きます。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		その都度、アセスメントで現状を踏まえ、保育所等訪問支援計画を作成している。	定期的に関き取りを行い、必要に応じて計画内容を変更など課題や意向を分析し、適切な計画を作成するよう取り組みます。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		事業所全体で意見を出し合い、共通理解の下検討している。	子どもの最善の利益を考慮する事を心掛け、取り組みます。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		学校様の意向も踏まえながら、作成している。	今後も学校様の意向を取り入れながらより良い支援が提供出来るように働きかけます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			今後も保育所等訪問支援計画が放課後等デイサービスの職員間にも共有出来る時間を設けます。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2			標準化されたツールを活用し、様々な方面から洞察し、今後の支援に反映出来る構造化を図ります。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		保育所等訪問支援ガイドラインに基づき、具体的な内容を設定している。	適時、保育所等訪問支援ガイドラインを確認し、新たな情報の下で具体的な支援内容を設定出来るように努めます。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		支援後には必ず、状態、支援内容、結果等を職員間で共有している。	どの職員が支援に携わっていたとしても計画に沿った共通の支援が出来るようにPDCAサイクルを用いて、全体で支援を強化します。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2		支援開始前、前日に保護者様より、ご本人の状態を聞き取りながら職員間で連携し、役割分担しながら支援を実施している。	子ども達の状況はその都度、変化します。適時、新たな情報の下で的確な支援が出来るように3機関で連携を図り、チーム全体として支援が出来るよう取り組みます。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		支援後には必ず、状態、支援内容、結果等を職員間で共有している。	どの職員が支援に携わっていたとしても計画に沿った共通の支援が出来るようにPDCAサイクルを用いて、全体で支援を強化します。	

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		訪問先の理念、支援手法を尊重し、自然な形で支援に入れるように心掛けている。	訪問先の理念等を大切に、変化がある支援を導入する際は意見をとり入れながら相違がなく、支援が出来るように取り組みます。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		報告書を用いて、支援の検証・改善を図っている。	記録に関しては確立ではなく、より良き形で報告が出来るように検討し、改善します。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2		面談や会議の際に見直しを行っている。	今後も定期的に意向やモニタリングを行い、必要に応じて見直し出来るように体制を整えます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2		主として支援に携わっている者がサービス担当者会議等に参画し、情報提供を行っている。	なるべく支援に携わっている支援員が参加出来る形に調整し、難しい場合は正確な情報提供出来るように職員間との連携を図ります。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		必要に応じて、関係機関を連携を図り、支援体制を整えている。	必要に応じて地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）と直接的に連携が図れる体制を整えます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2		相談員からの情報提供を参考に共通理解のもとで支援内容を見直ししている。	就学時の移行の際はスムーズに引き継ぎ等が出来るように働きかけます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2		専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員全体で外部研修に参加している。	今後も連携を図り、積極的に外部研修に参加し、専門的知識を身につけられるように努めます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2		子ども支援連絡会等に参加している。	児童発達支援管理責任者だけでなく、どの職員でも参加出来る体制を整えます。また、様々な会議に参加出来るように機関からの情報が入りやすい関係性を構築します。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		連絡帳、電話、送迎時、面談時等に状況を細目に共有している。	今後ご都合に合わせて、情報共有、共通理解が出来るように調整します。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会を設けていない状態。情報提供等、個別での対応は実施している。	必要に応じて家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修等を検討します。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		契約時に重要事項説明書等を用いて説明を行っている。	より分かりやすく説明が出来るように工夫する。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2		訪問先施設に対して、事前会議の際に説明を行っている。	訪問支援の目的等を適切に説明を行い、ご理解頂けるように取り組みます。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		保育所等訪問支援計画を作成する際は、子どもや保護者の意思、困り事、悩み等を聞き取り、その内容を踏まえ、目標を設定している。	ご本人の意向等を尊重し、課題を明確にし、内容に相違がない様に取り組みます。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2		書面を用いて、内容を説明し、同意を頂いている。	今後も内容をより分かりやすく説明出来るように工夫します。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2		適時、悩み相談を受け付け、対応している。	話やすい関係性を構築できるように取り組みます。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2		保護者様だけの会を設け、気軽に話す機会を設けている。	定期的に交流する機会を設け、参加は自由で気軽に話が出来るように検討しています。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2		相談等の申し入れが入った際は記録用紙にまとめ、迅速に対応している。	相談・苦情等、迅速に対応し、安心して頂けるように努めます。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2		放課後等デイサービスと共に活動を発信している。	定期的に更新し、活動内容やお子様のご様子を分かりやすく発信出来るように工夫します。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		個人情報保護マニュアルに基づき、書類等は施設出来る書庫で保管し、取り扱いに関しては全職員に周知している。	取り扱い、管理等は定期的に見直し、点検を行います。

	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2		必要に応じて視覚配慮、伝達方法を配慮している。	状況に応じて様々な方法で伝達出来るように検討します。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2		ご相談に応じて、アドバイス等を心掛けている。	適切な助言、支援方法をお伝え出来るように専門的スキルの上を図ります。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2		支援後実施後、担当の先生がお手すきの際は振り返り等を行っている。難しい場合は書面にてお伝えしている。	訪問先のご都合に合わせ、柔軟に対応し、カンファレンスが出来るように取り組みます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2		緊急性がある場合は電話にて迅速に伝達している。送迎時、書面等で報告をしている。	定期的にカンファレンスの機会を設け、現状の把握、支援内容等、話し合えるように働きかけます。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		訪問先施設の管理体制のもと、保管している。	個人情報関係の取り扱いの際は厳重に注意し、漏洩防止を徹底致します。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		学校様の方針を尊重し、その立場を考えながら助言を心掛けている。	学校様の考え等にも寄り添い、「繋ぐ」を大切に配慮が出来るように取り組みます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等に基づき、年2回以上の避難訓練や研修等を実施している。	訪問先施設での緊急時は訪問先の手順に沿って対応致します。また、様々な想定を考慮しながら、対応出来るように取り組みます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2		安全計画を作成し子ども達の安全確保を最優先として職員全体で確認している。	具体的な事例に基づき、想定しながら支援が出来る体制を構築します。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		ヒヤリハット等の報告書を適時、閲覧できる形を設けており、対策も検討している。	日常的に全職員でヒヤリハット報告書を活用し、対策を検討し、再発防止を心掛けます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		年1回以上の虐待防止研修を実施し、支援内容についても振り返りを大切にしている。	風通しの良い職場環境を整え、職員も疲弊しない体制を整備します。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2		身体拘束を検討する場合は書面を用いて、丁寧な説明を行い、同意を得ている。	現在では身体拘束に至るケースは少なく、万一の事も踏まえ、契約時に説明を行っています。今後も様々な場面を想定し、子ども達の安全を考慮し、危険を回避出来るように取り組みます。